

令和2年2月28日

筑紫野市議会  
議長 高原 良視 様

会派 つくし野  
議員 原口 政信

## 令和元年度 会派つくし野 視察報告書

会派つくし野が参加した視察について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 視察日程

令和2年 1月29日（水）～1月31日（金）（2泊3日）

#### 2. 視察先及び調査項目

- ・ 1月29日（水）岐阜県可児市  
「子育て健康プラザマーノについて」
- ・ 1月30日（木）愛知県知多市  
「コミュニティ活性化事業について」
- ・ 1月31日（金）愛知県大府市  
「ICT教育について」

#### 3. 視察者

会派つくし野

横尾 秋洋	大石 泰	鹿島 康生	下成 正一
平嶋 正一	原口 政信	波多江祐介	
八尋 一男	城 健二	合計 9名	

#### 4. 内容 別紙のとおり

## 岐阜県可児市

視察日 令和2年1月29日  
説明者 子育て支援課 課長  
子育て支援課  
子育て政策係担当

### 【可児市の概要】

岐阜県中南部に位置し、名古屋市および県庁所在地の岐阜市から30km圏内にあり、北部はおおむね平坦で、南部は県下最大級の工業団地、住宅団地やゴルフ場が点在する丘陵地となっています。また、市の北端部には日本ラインとして名高い木曾川、中央部には東西に流れる可児川があり、豊かな自然環境に抱かれています。古くから歴史をはぐくみ、市内には国指定史跡長塚古墳、銅たく発掘の地など多くの遺跡が分布しています。飛驒川・木曾川の合流点として交通の要所を占め、戦国時代には明智光秀出生地の明智（長山）城や森蘭丸出生地の金山城など多くの城が築かれ、江戸時代には市内を東西に中山道が横断し木曾の渡しとともに川湊が開かれるなど、現在の可児市の基礎がこの頃形成されました。また、市東部の丘陵は、志野、織部を代表とする桃山茶陶の発祥の地として名高く、明治まで美濃焼の主要生産地となっていました。明治以降は、製糸業の導入とともに発展し、昭和30年には可児郡西部の7か町村が合併し可児町が誕生、その後御嵩町・姫治村の一部を編入しました。昭和40年代後半に入ると、名古屋市のベッドタウンとして人口が急増し、昭和57年4月1日、全国650番目の市として市制を施行しました。その後、平成17年5月1日には、兼山町と合併し人口も10万人を超え、可茂地域の拠点都市として発展をしています。

- ・人口：102,313人（令和2年2月1日現在）
- ・議員定数：22名

### 【視察目的】

可児市の子育て支援の体勢は、情勢の変化に対応しながら組織機構の見直しや、施設整備も行ってきたが、少子高齢化や人口減少を迎える今、可児市重点方針として子育て世代の包括支援に取り組まれており、参考にするために視察を行ってきました。

## 【視察内容項目】

### ○子育て健康プラザマーノについて

少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化、また超高齢社会の到来を見据え、可児市は基本的な考え方を整理し、平成26年3月に“子育て支援機能を中核とし、市民の健康作り、多世代交流によるにぎわいを創出する空間の整備の必要性”を打ち出しマーノが誕生しました。

### ○施設の概要

#### ・1F そとのひろば

駅前から直結し、屋根付きで屋外イベントにも利用できる。

#### ・1F カフェレストラン

駅前に面し、待ち合わせや電車の待ち時間にも利用できる。

#### ・1F なかのひろば

絵本や子育て、健康作りに関する書籍を「みんなの書齋」と名付けゆったり利用できる。また授乳室や情報コーナーも配し交流の場にもなっている。

#### ・1F クッキングスタジオ

離乳食教室や成人の栄養指導等の食育などの実践の場となっている。

#### ・1F 中央児童センター「にこっと」

18歳未満の子どもを対象とし、遊びを通して健康や情操をはぐくむ場所です。午後9時まで開館することで、中高生の居場所として利用できる。

#### ・1F 健康スタジオ・1F マーノショップ

観光課の情報発信や、特産品や商品展示販売をしている。

#### ・1F 事務室、相談室

子育て支援や健康作りに関する担当部署を集約。子育て世代包括支援センターとして位置づけている。

#### ・2F 研修室・2F 市民支援室

ボランティアや市民活動団体の活動拠点であり、また子育てに関する支援制度を利用できるようにサポートしている。

#### ・3F 子育てサロン絆ルーム・3F 屋根の上の広場・3F 保健センター

## 【質疑応答】

○施設の総工費は？

約 41 億 5000 万円（国交省・厚労省・県の補助が約 1.6 億円、隣町との合併補助金約 36 億円で 5 年償還）

○施設職員の人数は？

・正職の職員、嘱託職員など含めて 75 名

○健康プラザマーノ建設に至った経緯についてお伺いします。

・平成 26 年 3 月可児駅前公共用地利活用に係る機能配置方針を策定し、3 回の市民ワークショップを開催し、行政手続き（条例制定・指定管理者選定委員会等）。

○マーノの意味は？

・「mano」マーノはイタリア語で「手」を意味します。市民、地域、行政が「手」を携え、様々な方法で市民生活を展開し、末永く愛される空間となるようにと願いをこめて。

## 【まとめ】

可児市子育て健康プラザマーノは、可児市の重点方針の一つ「子育て世代の安心づくり」の実現に向けた子育て世代包括支援センターとして、家庭相談員、社会福祉士、精神保健福祉士、保健士、管理栄養士、歯科衛生士、いじめ防止相談員全てがワンフロアに在室されなんでも相談ができる総合的な支援に加え、市民の健康づくりの推進や、多様な市民の交流を目的とした理想的な複合施設です。

筑紫野市の子育て支援課、健康推進課、全ての係と、教育委員会の一部が入って子どもの支援事業を行うようなものです。人口は筑紫野と同じでこの施設をつくれるのは、少子高齢化の時代に将来を見据えた素晴らしい発想であると感心致しました。筑紫野市に於いては、令和 2 年 4 月より新規事業で

「子育て世代包括支援センター」を開設します。可児市ほどは出来ないにしても期待したいものです。



# 愛知県知多市

視察日 令和2年1月30日

説明者

市民生活部市民協働課 課長

市民生活部市民協働課 主任

## 【知多市の概要】

知多半島の北西部に位置し、西は伊勢湾に面し約15kmの海岸線を有し北は東海市、東は東浦町、および阿久比町、南は常滑市に接している。地形は平均してなだらかな平坦地であるが、市の中部から東部地域にかけて、30mから65mまでの丘陵地となっている。気候は四季を通じて温暖であり、臨海部工業地帯と住居地域は恵まれた緑によって区分されており、住みやすい土地柄ということができる。大正、昭和に入っても農業、漁業、繊維産業が主な産業であったが、昭和37年10月より始まった臨海部の埋め立て、それに伴う企業の進出によって、町の形態は大きく変貌した。昭和45年9月に市制を施行し、現在では中部圏の中核である名古屋市の周辺都市として、名古屋南部臨海工業地帯の南3区、南4区に、火力発電、石油精製、都市ガス供給、造船、食料品、および飼料製造などの企業が操業している。平成9年には、南5区に新舞子マリナーパークがオープンし、多くの人々が訪れている。一方、背後丘陵部の宅地開発も進み、市制施行の時に39,834人(昭和45年10月1日、国勢調査)であった人口は、昭和49年の4月に5万人、昭和60年の4月には7万人、平成8年11月には8万人に達し、住宅都市としても良好な発展を続けている。

・人口：85,331人（令和2年1月1日現在）

・議員定数：18名

## 【視察目的】

本市でも7つのコミュニティ運営協議会があり、コミュニティセンターも全て開館を行い運用がなされています。一方、地域の担い手の減少や価値観の多様化など私たちの暮らしのあり方が変化する中、さまざまな地域課題の解決に向けてその役割も大きくなっています。知多市はコミュニティがスタートして約30年取り組まれ、活性化委託事業を行っており参考にしたいと視察を行いました。

## 【視察内容】

「コミュニティ活性化事業について」

10の小学校と5の中学校で構成され本市に似た形態である。本市も小学校区単位のコミュニティ組織づくりの目標はあるものの、その具体的な動きはありません。本市はコミュニティセンターという箱をありきで進められていますが、知多市は全く違いました。

知多市は、子どもたちの行動範囲でもある「小学校区」を単位に、コミュニティづくりが進められ昭和56年度には県の指定も受け、東部コミュニティが発足し、昭和62年度までに市内10小学校区全部にコミュニティが組織されました（今から35年前になります）

地区別人口は一番少ない地区が4300人、一番多い地域が13,700人で平均すると8,500人となります。

部会は平均して6～7部会あり、事業は防災訓練、運動会、文化祭、敬老会、盆踊り大会等々本市と大差はありません。

各コミュニティへの交付金額は基本額の180万円＋人口割額（270円×地区の人口）で本市と大差（総額約4100万円）はなさそうです。地区費は別途徴収がなされています。

次に本市と大きな違いを列記します

①役員手当は全てボランティアです

②本市の悩みでもある会長選出は、区長経験者がその任に当たるようになっている

③コミュニティ活性化委託事業があります（プレゼン方式）

地域の課題を解決し、地域社会の利益を増進する提案事業が毎年実施されています。コミュニティ協議会の代表者10人と市民協働課長の計11人で採点され2事業が選ばれ1事業当たり40万円が交付されています。

④各コミュニティ協議会の場所は、学校の空き室などに事務所が置かれています。

⑤小中学校の校長・教頭、PTA会長、子ども会代表、民生児童委員や長寿会代表（老人会、農業委員、自治会役員（区長）、保育園等その地区の全ての団体で構成されています。

近年では、急速に進む少子高齢化や地縁による人のつながりの希薄化などから、地域の担い手不足が課題となっているとのことですが、平成23年の東日本大震災の経験などを経て、コミュニティ機能の重要性が再認識され住民全てが主人公で自発的・主体的な地域づくりを目指し、コミュニティへの期待は大きくなっているとの説明を受けました。

## 【まとめ】

コミュニティは自発的に選んだ自分たちの活動です、活動を行うためには時間（人）や資金、物も必要になりますが、これらを他に求めるのではなく、自分たちが捻出すべきが原則とされています。自分たちの街は自分たちで守る精神です。それがどうでしょう行政からの通達事項やお願い事項が多く、自ら作成した推進計画も事業資金不足でやれないジレンマもあり、やらせられている義務感や不満・閉塞感が協議会にあるのではないのでしょうか？

本市の当初目標通り、小学校単位にコミュニティ協議会を作ることにより、保育園から小中学校関係、消防団、民生委員、シニアクラブや各種団体全てを巻き込んだ全世代型のきめの細かいサービス、身近な付き合いでより一体感ができ、敬老会や運動会などもできるのではないだろうか。コミュニティ活性化事業（プレゼン方式）でやる気を起こす取り組みは導入すべきだ。コミセンがなくても学校や公民館の間借りでやれる所からスタートしてはどうだろうか コミュニティ協議会改革の一端と致します。



# 愛知県大府市

視察日 令和2年1月31日

説明者

大府市教育委員会 指導主事

## 【大府市の概要】

大府（おおぶ）は「棧敷の貝塚」や「高山古墳」などの遺跡から考えて、縄文時代から人が住んでいたことがうかがわれます。地名の起りはその昔、村人たちが都の高官七津大夫という人を、「大夫さま」と尊称していたことから徳を慕って「大夫」となり、その後、伊勢神宮の大符を村へ納めたのにちなんで「大符村」に改称したといわれ、これがいつからか「大府村」になったようです。室町時代から戦国時代にかけては、このあたり一帯も戦場になったことが、桶狭間や石ヶ瀬の古戦場、そのほか城や砦の跡が地名として残っていることから容易に想像できます。江戸時代に入って、東海道五十三次の宿場として、知立、鳴海が栄えたころ、半月村、吉川村、長草村、八ツ屋新田など当時の村は鳴海陣屋の管轄を受け、純農村として徐々に発展を続けながら明治を迎えました。明治元年には、大府村をはじめ16カ村でしたが、部分的な合併、分離を経て7ヶ村に、明治39年、その7ヶ村が合併して大府村となり、現市域が確定しました。明治19年に武豊線が開通、翌20年には大府駅が営業を開始、さらに翌21年には東海道本線が開通し、東海道本線と武豊線の分岐点として、今日の発展につながるれい明をもたらしました。大正4年町制を施行、昭和45年9月1日、県下24番目の市として市制を施行しました。

- ・人口：92,761人（令和元年12月末現在）
- ・議員定数：19名

## 【視察目的】

本市も大府市と同様、福岡市のベットタウンとして、人口も微増しているが少子高齢化は確実に進行しており、それに対する行政、議会の対応、活性化のため大府市の逸早い教育へのICT活用の取り組みを参考とするため視察を行ったものである。



### 【質疑応答】

(1) ICT 環境整備計画について、導入当初に工夫した点についてご教示ください。

(A) ・Wi-Fi 環境の未熟

・先生方の慣れ

・授業改善のための研修時間の確保について工夫しました。

(2) ICT 教育に取り組む中で世代間による教員格差はあるか、お尋ねいたします。

(A) 当然ありますが、それは教育プログラミングにおいて、各教員に応じてできることから始めて貰いました。

(3) 教員並びに児童や生徒に一人一台のタブレット端末の環境整備がなされていると思うが、リース代を含む年間予算をお聞かせください。

(A) 20 台の 5 年リースで 4 2 4 万円です。

(4) ICT 機器整備によるセキュリティ対策はどうかお尋ねいたします。

(A) ・他から入れない閉塞域のセンターサーバー

・タブレット内のセキュリティソフト(必須)

・復元ソフト(デスクトップに保存しても電源を切れば戻る)

・インターネット接続の制限

(フィルターリング、ダウンロードの際のホワイトリスト)

大切なのは情報モラル教育です。

### 【追加質疑応答】

Q：教職員の公務負担軽減はどうなりましたか？

A：・簡単に拡大して提示することで集中する時間が増え、授業効果が上がった。

・呈示用教材作成時間の削減がなかった。

・子供と向き合う時間が増加した。

Q：支援員さんは、どこからこられているのですか？

A：基本的に派遣会社からの派遣社員さんで、当然コンピューターに精通している方で、この支援員さんの役割が絶対的に大きく、授業に先生と一緒に入って貰っています。この方式が大府市の特徴です。

Q：現在の全国的な普及レベルが、どれ位なのかお分かりでしたら教えて下さい？

A：関東圏では、割と普及しており特につくば市はかなり普及していると聞いております。全国的に言えばまだまだ普及しているとはいえないとおもいますが、私立校においては親に買ってもらってかなり普及しているとのことです。

### 【まとめ】

大府市は平成 27 年度から、子供たちが歩む未来を考え ICT 教育の整備を進め実践に至っている。

これからの時代の流れ的に必ず、ICT を活用する時がそこまできているのは確実である。GIGA スクール構想もそのひとつであることから、本市においても、大府市の ICT 活用の流れ等を参考に積極的な取り組みについて検討していきたい。



タブレット導入に伴い、議席にもコンセン  
トを整備。